

入院・手術 体験レポート
(口腔外科手術)

1999/8 – 1999/9

はじめに

これから紹介する2通のレポートは、香川県立中央病院の口腔外科にて上下の顎の矯正手術を受け、更に入院しながら病院で直接PCに日記の様にして打ち込んだものである。手術を紹介したパンフレット等を皆さんは、もう受け取っているだろうか？はっきり言ってこのパンフレットを読んですべてを理解することは無理だろう。(当然、手術に対する概略をつかむ事は出来るが。)更に、病院に着くと、これまでの入院患者の『体験レポート』なるものを三冊ほど渡され、看護婦の方からよく読んで理解するように言われる。これは、私もそのノートの存在を東京で聞かされ楽しみにしていたが、これはただの落書き帳で、ペンションの宿泊者ノートよりもひどく、まったくもって読む気を失せてしまった。

そこで、自ら入院中にこのレポートを書くことにした。入院前、東京で体験者の方に体験記をお聞きしたが、皆、手術から一年以上たっており、この辛さをまったく忘れてしまっており、『大したことはなかった』と必ず言われる。(個人差はあるが)私も1年後に聞かれると同じように答えるだろう。これは、実際とのギャップを大きく広げてしまい、結局は本人が病院に着いてから苦しむ羽目になる。

今回、私、森 弘吉(男・外資系コンサルタント会社勤務)と同時期(私の5日前の手術)に同じ東京の山田矯正歯科から手術に来ていた入院の先輩でもある田所 歩さん(女・慶応大学4年生)に、女性ならではの観点、悩み、苦しみをPCに直接打ち込んでもらった。同時期に1台のPCを交互に回して使った為、2通のレポートの整合性は乏しいが、読み方として、森レポートを最初に読み、流れをつかんでから田所レポートをじっくり読んでもらいたい。

最後に、このレポートは、『入院の実況中継』と言うべきものにしたいと思い、文章、表現が冗長になってしまうのを十分に承知の上、日記形式で1日を朝、昼、夜に3分割して、それぞれ実際に何が行われ、その時どの様に対処したか、を書き記した。このレポートを読み今後の入院ライフをしっかりと頭に描いてほしい。あと、入院中は、大部屋で、話も出来ず、体調も悪いと精神的にまいる時があるかもしれないので出来るだけ多く、入院の友を見つけるべきだと思う。手術と入院(術後2日間)は、辛いがこれは体力では無く、気力がすべてのキーワードとなるだろう。このレポートの本当の目的は皆さんを脅す為ではなく、実際を知り手術、入院を有意義なものにすることである。焦らず、先生とよく相談しながら自分のペースをしっかりと掴んでもらいたい。

99年初秋 香川県にて 森 弘吉

森レポート

診断名：顎変形症

術式名：上下顎矯正手術（手術日：8/30/1999 退院日：9/10/1999）

8/27/99（入院日）

午前 10 時過ぎ，県立中央病院に到着．11 時半まで検査を受ける．検査後すぐに病室に案内され，必要なものを一階売店にて購入する．

午後 1 時半過ぎまで一階の喫茶店で昼ご飯を食べる．病室に戻り，看護婦さんに入院にあたり面接を受け，病棟の案内を受ける．4 時に麻酔科の先生に面接を受ける．

手術に必要な物を売店で購入（テレビ等も借りる）．午前 0 時頃に就寝．

8/28/99

午前 6 時半起床．8 時に朝食をとる．

昼食前に病院を出て，観光に出かける．琴電で 1 時間かけて琴平参りに行く（本堂まで登り，参拝して瓦町に戻る．瓦町の商店街を隈なく歩き，駅近くで夕食をとる．

午後 7 時半に病院戻り，シャワーを浴びて午前 0 時に就寝．

8/29/99

午前 6 時半に起床．8 時に朝食をとる．

午前に病院を出て，観光へ出かける．琴電バスに乗って，庵治温泉に行く．約 1 時間弱で庵治温泉入口に着き，庵治観光ホテルの海に見える温泉に入る．午後 3 時頃，瓦町に戻り，ぶらぶらしながら片原町の銭湯で夕方までゆっくり休む．

午後 7 時に病院に戻る．看護婦さんから明日の手術についての恐ろしい話と準備について聞く．最後の夕食をとる．（手術前日の午前 0 時を過ぎると食事，水すべて禁止の断食状態に入る）

8/30/99（手術日）

午前 6 時起床．

12 時半に手術着に着替え，キャップをかぶり，筋肉注射を上腕二頭筋に打たれる．その直後，母親が病院に到着，担架ベットに乗せられ，3 階の手術室へ．着くとすぐ，麻酔を打たれ，1 分もしないうちに気を失う．

手術は上下顎で約 6 時間かかり午後 7 時に母親，看護婦さんの呼びかけで眼が覚める．すでにその時個室にいた．激しい悪寒がして，高熱が出る．点滴，座薬で何とか寝付く．

8/31/99（術後 1 日目）

かなり苦しい．体中に管が通っていて，顔面はバンドで縛り付けられ，ほとんどロボット状態．何とか目は開いているが，微熱状態が続き，ただ痛みの峠を乗り越えるのを待つばかり．朝，昼，夜は無く，ひたすら個室のベットで一日を点滴と共に暮らす．こんなに長い一日はめったに経験しないだろう．

9/1/99（術後 2 日目）

まだ痛みと気分の悪さは残っている。しかし、ようやく朝、導尿の管が取り除かれた。今後トイレに行くのは大変だが一つ体から人工物が取り外されたことが嬉しい。

午後 12 時頃、次の患者さんが来るので大部屋（7 人部屋）に移動させられた。個室はたったの 1 日だった。（後の手術の込み具合にもよる）。母親も帰り、本格的な入院生活が始まった。夕方近く、口の中（術後の貯まった出血を抜くためのドレーン）の管はずされた。昼食からは経管栄養（鼻から胃を通じて流す）が始まる。

午後 6 時ぐらいから熱が出始め、38.8 度まで上がり、座薬と筋肉注射で就寝した。

9/2/99（術後 3 日目）

午前 6 時起床。顔面のバンドはとれたが、かなり腫れている。顔面が 3 倍以上に腫れ上がっている。

昼も経管栄養をとるが、下痢気味で苦しい。点滴もとれ、身体的には身軽になってきた。

午後 6 時頃から栄養剤を流し始める。午後 8 時頃からまた 38 度程の熱が出て、座薬で就寝。

9/3/99（術後 4 日目）

午前 6 時起床。朝から経管栄養で気持ちが悪い。午前の外来診察で先生に経管栄養の為の下痢がひどいことを訴え、処置を変えてもらう。久々のシャワーを浴びる。

午後 12 時に、念願の鼻の管（鼻から胃までつながっている）が取れた。これですべての人口装置が体内から取り外され、元来の人間に戻った。昼食からミキサー食が始まる。ミキサー食については、作り方等いろいろあるがここは省きたい。2~3 回失敗して自分なりに味、食べ方を見つけていけばいいと思う。

午後 8 時頃、微熱のまま就寝。

9/4/99 - 9/5/99（術後 5-6 日目）

午前 6 時起床。洗濯と朝食を済ます。

5 日ぶりに外へ出かけ、5 日ぶりの日経新聞を読み会社復帰を計る。

9/6/99 - 9/9/99（術後 7-10 日目）

外来処置室で、口の中の針金（正式には顎間固定という）をとってもらい、口が 1 センチ弱開くようになる。

鏡の前で口を開ける練習をする。1 日 2 回の点滴も終わる。

顎間ゴムを暖めてもらい、話す事が楽に成ってくる。

術中に装着したマウスピースを外し、顎の筋肉を鍛え始め、抜糸を行う。

9/10/99（術後 11 日目）

退院許可

この 8~10 日頃までが手術からの復帰を念頭に置いた、受身的な治療が行われるが、これ以降は（人によっても違うが）は、退院に向けて自ら積極的に訓練していく、能動的な治療となってくる。

田所レポート

診断名：顎変形症

術式名：上下顎矯正手術（手術日：8/25/1999 退院日：9/7/1999）

8/23/99（入院日）

午前 10 時過ぎ、県立中央病院に到着。11 時半まで検査を受ける（血液検査、尿検査、心電図、肺活量、X 線）。

看護婦さんに入院にあたり面接を受け、病棟の案内を受ける。その後昼食。午後 3 時に執刀医の三次先生から手術の手順の説明を受ける。

3 時半から観光へ。栗林公園をまわり、瓦町へ。商店街を歩き、必要なものを買おうと試みたが、5 時過ぎにはほとんど閉店していた。瓦町駅近くのかな泉（うどん屋さん）で夕食を取る。午後 8 時頃病棟に戻り、10 時頃に就寝。

8/24/99

午前 6 時起床。8 時に朝食をとる。

午前 10 時過ぎ、麻酔科の先生と面談。病院の売店で手術に必要な物を買ひ揃える。

12 時に昼食をとる。病院内を散策。北病棟だけ新しい事を発見し、以後トイレは北病棟まで歩く。午後 3 時にシャワーを浴びる。

午後 6 時に手術前最後の食事を取る。個室への移動に備え荷物を整理する。午後 8 時過ぎ、母が病院に到着。午後 10 時に就寝。

8/25/99（手術日）

午前 6 時起床。手術に備えて顔の産毛を剃る。7 時半に浣腸をする。9 時には手術衣と手術用パンツに着替える。

午前 9 時半に筋肉注射を打たれ、手術室へと運ばれる。10 時手術開始。手術台に乗せられるまでは記憶があるが、麻酔マスクをする前に意識が無くなっていたと思う。

手術時間は、通常上下の顎変形症の手術時間 5 時間に加え、私は下顎前部の歯肉退縮への施術も含め 6 時間の手術時間。気がついたのは病室へと移動する最中で、耳元で人の声があわただしく聞こえた。激しい悪寒を感じる。

夕方、個室に入る。麻酔から覚めた時に多量の血を飲んだらしく、その分の血を吐く。導尿の管と術野からの出血を外に出す為の細いチューブが口から 2 本と、胃へとつながるチューブが鼻から 1 本出ている。左手には点滴が繋がれている。顎と頬は腫れ止めのバンドで固定されている。熱が 39 度近くあり、頭部が腫れの為に熱く、体は寒い。よだれがたくさん出たり、鼻が詰まるのでその都度吸引する。激しい痛みではなかったが、座薬を入れてもらい、うつらうつらと眠りに就く。

寝ては起きての繰り返しで、結構辛い。酸素マスクから出る音と、自分の鼻の回りの不快感、鼻息が気になってしょうがない一晩。口から十分に息が出来ない為、鼻からたくさん吸い込もうと不自然になってしまう。痛みよりも意識がもうろうとしている中で、呼吸が苦しく感じる気持ちが強い。ぐっすり寝ることが出来れば、苦しくない。

8/26/99 (術後 1 日目)

午前 5 時半，採血される．顔の感覚がほとんど無い．鼻が詰まると死にそうになるので，起きている時はほとんど口と鼻を吸引する．午前 7 時，座薬を入れてもらう．座薬の効果で短時間でもぐっすり眠ることができる．

午前 9 時ごろ，回診．腫れ止めバンドを外し冷えピタを取り替える．導尿の管をとり体を拭いて，手術衣から着替える．水分と抗生物質の点滴が絶え間なく続く．トイレまで行き，ピデを 5 分ぐらい使いリフレッシュする（南病棟のトイレは，女性用 3 つのうち 1 つが洋式でウォシュレット付き）．

午前 11 時，X 線撮影．1 階まで歩く途中，口腔内に溜まった血が鼻から出る．その後も鼻からの出血は時々あった．

午後 2 時，外来で執刀医の三次先生から説明を受ける．午前中に撮影した X 線レントゲン写真を見ながら，手術の成功を知らされる．口の中が汚れない飲み物（水，ポカリスエット）だったら飲んでも良いと許可される．注射器を使って紅茶を飲む．

午後 5 時，座薬を入れてもらう．立てるようになった為，吸引も一人で出来るようになる．その後，横になったまま寝たり起きたりを繰り返す．

8/27/99 (術後 2 日目)

短い眠りの繰り返しだったが，一応午前 6 時起床．2 種類の点滴を打ち続ける．午前 7 時，顔や体をタオルで拭き着替える．顔は術後 2 日目が腫れのピークだという．

午前 9 時，処置室に呼ばれて傷の消毒．

午前 12 時すぎ，手術後初めての食事をする．缶詰に入った液状の栄養剤（商品名 YH）を缶ごと湯せんにかけて，中身をイルリゲートルという点滴袋の様なものに入れ，その先を鼻から出ているチューブにつなぎ，そこから体内へと入れる．少し胃がむかむかする．

午後 2 時ごろ，大部屋（7 人部屋で 4 人既にいらした）へと移動．三次先生に回診．肺やおなかの音を聞かれる．

午後 4 時半，2 種類の点滴を打ち終わり，手術後ずっと入ったままだった点滴の針をぬく．一息つき，また紅茶を飲む．

午後 6 時，YH 1 缶の夕食をとる．母が東京へと帰る．

午後 9 時，就寝．顔が腫れの為に火照って，寝苦しい．氷枕を顔にあてながら寝付く．

8/28/99 (術後 3 日目)

午前 5 時起床．

午前 8 時，YH 1 缶の朝食をとる．処方された胃薬をお湯に溶かして鼻から入れる．うがい薬を注射器で口の中に入れ，吸引を使ってうがいをする．

9 時，処置室に呼ばれる．口腔内からの出血が無い為，口から出ていた 2 本のチューブを取り外してもらう．入浴の許可が出る．顔にしていた腫れ止めのバンドも外れる．しかしまだ，腫れは残る．抗生物質を点滴で入れる（以後，点滴はすべてこれのみ）．

午前 12 時，YH 1 缶の昼食をとる．胃薬を注入する．うがいをする．その後 3 時ごろ，シャワーを浴びる．顔をぬらさぬように気を付けながら，軽く髪も洗う．その後は，何もする事

が無く、本を読んで過ごす。

午後4時半、点滴1本をいれる。血圧を測る。

午後6時、YH1缶の夕食をとる。胃薬を注入し、うがいをする。

することがないので、午後9時、就寝。昨日とは打って変わってぐっすりと眠ることが出来る。慣れない生活の為に、夜中にトイレに何度か起きる。大部屋は、退院や週末外泊の人が相次ぎ、7人部屋に2人。

8/29/99 (4日目)

午前6時半起床。

午前8時、YH2缶の朝食をとる。胃薬を注入し、うがいをする。マウスピースをはめて固定されているが、練習次第で話すことが出来る、と看護婦さんに言われて意欲的に話し始める。

9時過ぎ、処置室に呼ばれ、傷の消毒をしてもらう。点滴1本うつ。

午前12時、YH1缶を昼食にとる。胃薬を注入し、うがいをする。

午後4時半、点滴1本うつ。

午後6時、YH2缶の夕食をとる。胃薬を注入し、ウォーターピックを使ったうがいも始める。これは、水圧で口腔内の汚れを取るものである。

午後10時、就寝。

8/30/99 (術後5日目)

午前6時半、起床。洗面をすませ、洗濯室での洗濯の後地下乾燥機で洗濯物を乾かす。

午前8時、YH2缶の朝食をとる。胃薬を注入し、うがいをする。処置室に呼ばれたが、YHの管がつながっていたのでいかず。

9時過ぎ、点滴1本を打つ。

午前12時、YH2缶の昼食をとる。胃薬を注入し、うがいをする。YH2缶ずつになり、少し胃がもたれる。午後は、コンピューターをいじったり、本を読んで過ごす。

午後5時、点滴1本を打つ。これで、点滴は終了する。

午後6時、YH2缶を夕食としてとる。2缶注入するには45分程度要するので、注入スピードを最速にしていた所へ三次先生の回診。YHは食事ではないので、ゆっくりと時間をかけて注入するべきだと凄く遅いスピードへとなおされる。YH注入は時間がかかることに加え、摂取中は便秘か下痢かに偏るとというのが難点である。

顔の腫れもだいぶひき、痺れを感じるのも口と鼻の辺りだけになる。ストローを使って飲み物を不自由なく飲むことができるようになる。注射器を使って飲むのとは比べものにならないほど楽で、たくさん飲むことが出来る。

午後10時、就寝。今夜も、大部屋は二人。

8/31/99 (術後6日目)

午前6時半、起床。

午前8時、YH2缶の朝食をとる。胃薬を注入し、うがいをする。

午前9時過ぎ、口腔外科の外来に呼ばれる。鼻から出ているチューブを外し、ミキサー食にのぞんでブラッシング指導を受ける。これでやっと、体につながれているものはなくなった。

顔の腫れはまだ残り，マウスピースもはめたままだが，だいぶ楽になる．

午前12時，昼食をとる．ミキサー食が始まる．半分ぐらい食べる．

午後3時，入浴する．続いていた微熱も下がり始めたので，お湯にゆっくりとつかる．入浴後，手術を明日に控えた患者さんに手術前後の説明をする．

午後6時，夕食をとる．半分ぐらい食べる．おかずの方がご飯より味があって食べやすい．

夕食後，点滴の代わりに処方された粉薬を水に溶かして飲む．

午後10時，就寝．

9/1/99 (術後7日目)

午前6時半，起床．洗濯をする．

午前8時，朝食をとる．ミキサー食の調理にも慣れ，ほとんど食べることが出来る．食後に薬をのみ，ウォーターピックでのうがいとブラッシングをする．

午前9時過ぎ，処置室に呼ばれる．口腔内の消毒をしてもらう．

午前12時，昼食をとる．ほとんど食べる．ご飯はついてくるスープを少しし，各種スープの素(粉末)をその時の気分で1袋と塩を入れるとおいしく食べられる．おかずは，お味噌汁はそのままミキサーにかけ，煮物をそこに入れても良いし，煮物は別にそれだけでだしの素を加えてミキサーにしてもおいしい．ブラッシングをする．

午後1時半，おやつにプリンを食べる．そのままで食べることが出来る．

午後2時，口腔外科外来に呼ばれ，針金を外す．口を開ける練習を少しずつしだす．

午後6時，夕食をとる．ほぼ全部食べる．胃薬をのみ，うがいとブラッシングをする．

午後9時，就寝．

<番外編> 典型的なミキサー食のメニュー

<朝食>

ご飯(おかゆ状)，お味噌汁，梅干し，牛乳，
オレンジジュースまたはアップルジュース

<昼食>

ご飯(おかゆ状)，惣菜(さといもの煮物等)2品，ヨーグルト

<夕食>

ご飯(おかゆ状)，煮魚，野菜のお浸し，味噌汁，牛乳

9/2/99 (術後8日目)

午前6時半，起床

午前8時，朝食をとる．胃薬を飲み，うがいとブラッシングをする．食後に鏡を見ながら，口を開ける練習をする．

午前12時，昼食をとる．うがいとブラッシングをする前に口腔外科外来に呼ばれ，来週手術をするという人に話をしする．その後，うがいとブラッシングをする．

午後1時半，口腔外科外来で，マウスピースを外してもらう．矯正装置にゴムをかけ，口を開けて話す練習をしだす．顎を最も良い位置へ持っていくように，今後は自己管理してゆく

とのこと。

午後 2 時半，口腔外科の部長回診で外来に呼ばれる。口を開けて話すことで，ゴムによって引っ張られている下奥歯が痛む。話す練習は奥歯が痛むと共に頬も痛み，少々苦痛を伴う。間食に野菜ジュースとプリンを食べる。

午後 5 時ごろ，古木先生と藤沢先生の回診がある。病状を聞かれるが，問題なし。

午後 6 時，夕食をとる。胃薬をのみ，うがいとブラッシングをする。

午後 10 時，眠っている間に歯ぎしりなどをしないようにマウスピースをはめて就寝。

9/3/99 (術後 9 日目)

午前 6 時半，起床。マウスピースをはめていた為か口を開けるのが少し痛い。マウスピースを外し，ゴムをかける。

午前 8 時，朝食をとる。胃薬を飲み，うがいとブラッシングをする。

午前 9 時，処置室に呼ばれる。口腔内の消毒をしてもらう。

午前 12 時，昼食をとる。うがいをし，ブラッシングをする。

午後 3 時半，口腔外科外来に呼ばれる。今度手術を受ける患者さんに話をする。病室に戻り，骨の早期接着のために超音波をあてる。片顎 20 分ずつあてる。

午後 6 時，三次先生と山田歯科から今日高松にいらした患者さんと一緒に，高松の山田歯科クリニックへ行く。その後，山田先生や歯科衛生士の方々も交えて夕食をとる。外食なのでもちろんミキサー食ではないが，小さく切って口へと入れれば食べることが出来る。

9/4/99 (術後 10 日目)

午前 6 時，起床。洗濯をする。

午前 8 時，朝食をとる。胃薬を飲，うがいとブラッシングをする。

午前 9 時半，処置室に呼ばれる。口腔内を消毒してもらう。

午後 12 時，昼食をとる。うがいとブラッシングをする。

午前 12 時半，外出をする。高松城跡や瓦町周辺を歩きまわる。暑かった為もあって，歩くときすぐ疲れる。遠出をしようと思った予定を変更する。

午後 6 時，高松の山田歯科へ行く。山田先生とクリニックの方々食事に行く。しゃぶしゃぶを食べる。肉を小さく切れば食べることが出来る。

午後 11 時，病院に戻る。うがいとブラッシングをしっかりとして就寝。

9/5/99 (術後 11 日目)

午後 6 時，起床。湿疹が腹部を中心に広がり，体がかゆい。

午前 8 時，朝食をとる。うがいとブラッシング。

午前 12 時，昼食をとる。

午前 12 時半，外出をする。外に出るが，湿疹が激しく辛いので近場をぶらぶらするにとどまる。

午後 6 時，病院にもどり，夕食をとる。

午後 10 時，就寝。

9/6/99 (術後 12 日目)

午前 6 時，起床．湿疹がまだひどく，食欲も無い．

午前 8 時，朝食をとる．

午前 9 時，処置室に呼ばれる．口腔内を消毒してもらう．

午前 12 時，昼食をとる．

午後 2 時，口腔外科に呼ばれる．抜糸後，レントゲンをとる．その出来上がり写真を見ながら，三次先生から経過の話を聞く．順調なので，明日の退院がきまる．

午後 6 時，夕食をとる．ミキサーにかけるものを一部にして，柔らかいものはそのまま食べるように練習し始める．皮膚科からかゆみ止めの軟膏をもらい，かゆみがおさまり始める．

入浴する．

午後 10 時，就寝．

9/7/99 (術後 13 日目)

午前 6 時，起床．湿疹は抗生剤が原因らしく，昨晚服用した薬でおさまる．

午前 8 時，朝食をとる．退院の準備をする．

午前 9 時，処置室に呼ばれ，抜糸後の口腔内を消毒してもらい，退院の最終確認．